

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第3区分
【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公表番号】特表2001-524035(P2001-524035A)
【公表日】平成13年11月27日(2001.11.27)
【出願番号】特願平10-547859
【国際特許分類第7版】

B 2 4 B 27/06

B 2 8 D 5/04

【F I】

B 2 4 B 27/06 F

B 2 8 D 5/04 C

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月14日(2005.2.14)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 17.2.14
年 月 日

特許庁長官 小 川 洋 殿



1. 事件の表示 平成10年特許願第547859号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 アシュセテ シェーピング システムズ
ソシエテ アノニム

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. (本補正により請求の範囲に記載された請求項の数は合計「15」
となりました。)

6. 補正対象書類名 明細書

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容 別紙記載の通り



請求の範囲

1. 1層の糸の糸間間隔を規定する表面上に設けられた溝により所定の位置に維持された糸(2)を支持する少なくとも2本の糸ガイドシリンダ(4)を含んで成る、糸を用いたスライス装置であって、糸が、支持テーブル(3)上に固定されたスライスすべき部品(1)に対して押しつけられた状態で往復又は連続運動に従って移動できる装置であって、糸ガイドシリンダ(4)のまわりでの糸の巻つけは、ゼロでない角度(β)を成して少なくともライン(6)に沿って交差する少なくとも2層の糸を生み出すこと、又糸は、シリンダの外周の少なくとも 120° にわたり糸ガイドシリンダ(4)の各々の上に巻きつけられる装置において、該装置は、スライスすべき部品(1)と糸層(2)の間の相対的移動(5)を行なうための手段(31)及び前記相対的移動(5)の方向(Z)と、隣接する2本の糸ガイドシリンダ(4)の軸(20)が中に入る作業平面(16)に直交する線(15)との間に含まれる傾斜角(δ)を調節するための調節用手段(35, 40, 43)を含んで成り、この傾斜角(δ)は、平行な面をもつ薄片を得るような形で決定され調整されることを特徴とする装置。
2. 2本の糸ガイドシリンダ(4)を含むこと及び糸は、第1の糸ガイドシリンダの上部部分から直線状に第2の糸ガイドシリンダの下部部分まで移行し次にこの第2のシリンダの上部部分から直線状に第1の糸ガイドシリンダの下部部分に向かって戻ることによって2本の糸ガイドシリンダ上に巻きつけられ、かくして前記角度(β)で交差する2層の糸(2)を形成する8の字形の巻線を構成するようになっていることを特徴とする請求項1に記載の装置。
3. 調節用手段(35, 40, 43)が、隣接する2本の糸ガイドシリンダ(4)の軸(20)に対し平行で作業平面(16)に直交する調節用平面(17)内で前記傾斜角(δ)を調節するような形で配置されていることを特徴とする請求項2に記載の装置。
4. 前記傾斜角(δ)が、糸ガイドシリンダ(4)上の2つの隣接する溝(17)を離隔する距離、これらのシリンダの直径(D)及びこれらのシリンダを離隔する距離(L)に応じて決定され調整されることを特徴とする請求項3に記載

の装置。

5. 傾斜角 (δ) が、

$$\delta = \arctan (P / 2d)$$

という式に従って決定され調節され、式中Pは糸ガイドシリンダ(4)の隣接する2つの溝(14)を離隔する距離であり；dは、糸ガイドシリンダ上で交差する2枚の層の接線方向接点を結ぶ上部及び下部直線(18, 19)の離隔距離であり；このdは、

$$d = D \times \cos (\arcsin D / L)$$

という式から決定され、この式中Dは糸ガイドシリンダ(4)の直径であり、Lはこれらのシリンダの軸を離隔する距離であることを特徴とする請求項4に記載の装置。

6. 調節用手段が、前記調節用平面(17)に直交するヒンジ留め軸(33)を中心にして糸ガイドシリンダ(4)全体を回転させるような形で配置された機構(35)を有することを特徴とする請求項3～5のいずれか1項に記載の装置。

7. 調節用手段が、前記相対的移動(5)方向(Z)を、前記調節用平面(17)に直交するヒンジ留め軸(39)を中心にして回転させるような形で配置されている機構(40)を有することを特徴とする請求項3～5のいずれか1項に記載の装置。

8. 調節用手段が、前記相対的移動の方向(Z)に直交する方向(Y)に沿って前記調節用平面(17)内でスライスすべき部品(1)を移動させるような形で配置されている機構(43)を有することを特徴とする請求項3～5のいずれか1項に記載の装置。

9. 前記角度(β)が、糸ガイドシリンダ(4)の直径及びこれらのシリンダの軸の離隔距離によって決定されることを特徴とする請求項1又は2に記載の装置。

10. 前記角度(β)が少なくとも 20° であることを特徴とする請求項1, 2又は9のいずれか1項に記載の装置。

11. 前記糸層(2)交差角度(β)を修正するための手段を含むことを特徴とす

る請求項 1 に記載のスライス装置。

12. 角度 (β) を修正するための手段が、少なくとも 1 本の糸ガイドシリンダ (4) を移動させるように配置されていることを特徴とする請求項 11 に記載のスライス装置。
13. 同じ直線 (6) に沿って交差する少なくとも 3 層の糸 (2) を含んで成ることを特徴とする請求項 1 に記載のスライス装置。
14. 異なる直線に沿って 2 つずつ交差する少なくとも 3 層の糸 (2) を含んで成ることを特徴とする請求項 1 に記載のスライス装置。
15. 糸層 (2) 交差角度 (β) を修正するための手段が手動式、電動式、空気圧式又は油圧式で起動させられることを特徴とする請求項 11 又は 12 に記載の装置。